

## テングハマキ

6～7月に様々な樹木や草本の葉を糸でつづって食べるイモムシ（幼虫）。最大長約20mm。体は背中が灰緑色で白っぽい斑点がある。体の下側は黄白色。頭は暗い茶色。頭のすぐ後の背面は茶色。

【学名】 *Sparganothis pilleriana*

【分類】 チョウ目（Lepidoptera），ハマキガ科（Tortricidae）

【分布】 北海道，本州，四国，九州；北半球全域。

### 【生態】

宿主：トドマツ，ヨーロッパトウヒ，カラマツ，ニオイヒバ，クルミ，ポプラ，その他広葉樹，ヨモギ，マメ科草本，その他。  
年1世代。幼虫は6～7月に新葉を糸でつづりあわせて食べる。成虫は7月中旬～8月上旬に出現する。

### 【被害と防除】

カラマツ林で1例多発記録があり，4年ほど続いた。食害による木の著しい衰弱や枯れは記録されていない。防除は普通必要とされない。

### 【文献】

\*1983. 上条一昭，駒井古実，鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報, 55: 17-21.

\*1984. 鈴木重孝，駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場報告, 22: 85-129. (分類, 形態, 生態)

\*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

テングハマキ hamaki/tengu/  
kaisetu.htm

「文章」原秀穂，北海道立林業試験場，2001/12/22.